

池内ブロック

池内谷は、中世において田辺から京や若狭に向かう街道として非常に重要であった。このことは里村紹巴の旅行記からだけでなく、山間の小集落の城と考えるにはあまりにも防備堅固な山城からも推定できる。土塁を周到に巡らせた寺田城や布敷城などはその代表である。また、二つの支城を従えた万願寺城は池内谷の入り口を固めている。若狭の白井氏が知行を宛行われていることから、この谷にも武田氏が勢力を伸ばしていることが推定される。

